

情報共有により実現する業務の理想の姿を目指して

— 情報共有システム機能要件の改定 —



高度情報化研究センター 情報基盤研究室 前室長 **金澤 文彦** 交流研究員 **渡辺 完弥**

(キーワード) CALS/EC 情報共有 業務改善 工事施工

1. はじめに

建設現場での生産性向上のために、情報通信技術(ICT)を活用して、工事施工中の情報を共有し、受発注者間のコミュニケーションを強化していくことが有効と考えられている。そこで、国交省では、“国土交通省CALS/ECアクションプログラム2005”で「工事施工中における受発注者間の情報交換、共有の効率化」を目標の1つに掲げ、情報共有システムの導入に取り組んでいる。これまでの情報共有システムを利用するなかで、単なる情報の共有だけでなく、工事における書類作成・管理の改善、建設現場の問題への迅速な対応、電子検査や電子成果品作成の改善など更なる業務改善が求められている。この期待に応えるために、「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件(案)(Rev1.1)」の拡充を行い「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 平成20年12月版Rev.2.0」を策定した¹⁾。策定にあたっては、学識経験者や業界団体(土工協等)、地整の担当者等の意見を踏まえ行った。

2. 情報共有システム機能要件改定の要点

改定の要点とその効果を以下に示す。

(1) 建設現場の問題への迅速な対応

発注者が対応すべき協議回答等の作業を把握できるワンデーレスポンス支援機能、掲示板機能を追加した。これにより、建設現場の問題に対する迅速な対応が可能となる。

(2) 工事完成図書を取りまとめ負荷軽減

蓄積した情報から電子成果品を作成する電子成

果品作成支援機能を充実させた。これにより、電子成果品の取りまとめ作業の負荷が軽減される。

(3) 電子データによる検査・検査準備作業の効率化

システムを利用した電子検査が行える電子検査支援機能を追加した。これにより、検査・検査準備作業の効率化が図られる。

機能要件の概要(抜粋)を表-1に示す。

表-1 機能要件の概要(抜粋)

機能名称	機能要件の概要
掲示板機能	質問・回答など、発注者-請負者間で文章を登録・削除・閲覧できる。
スケジュール管理機能	請負者は、監督職員の予定のうち、当該工事に関係する予定と、当該工事以外の予定の有無を閲覧できる(請負者の利用機能)。
発議書類作成機能	工事基本情報が帳票(鑑)に反映される。
ワークフロー機能	システム上で、発議書類を提出、承認できる。
書類管理機能	書類をフォルダ分けして、体系的に管理できる。
電子検査支援機能	検査に必要な工事書類を抽出し、検索、閲覧、ファイル出力できる。
電子成果品作成支援機能	電子成果品は、当該工事に適用される電子納品要領の仕様(フォルダ構成、ファイル命名など)で作成できる。
ワンデーレスポンス支援機能	担当する全ての工事における承認状況等を一覧表示できる。(発注者の利用機能)

3. 今後の予定

今後は、ASP等の既存の情報共有システムへの実装や公共工事への導入を促進する予定である。

【関連情報等】

1) 国土技術政策総合研究所: 受発注者間のコミュニケーション強化のための情報共有システムの導入促進について(記者発表資料), 2008年12月
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/20081218cals.pdf>